



平成28年度 ともがき事業総括

ともがきは通所介護事業、訪問入浴事業、居宅介護支援事業の3つの事業を展開しており、通所介護事業は、ご利用者に楽しんでいただきたい気持ちから、誕生日のお祝いとしての外出や、日曜行事でも外出活動を多く取り入れてまいりました。ご利用者からもご好評いただいております。訪問入浴事業は、ご利用者の多くが外出することが困難な方であり、少しでも四季を感じて生活を楽しんでいただきたい気持ちから、桜や、りんご、ゆず、菖蒲などを湯船に浮かべたり、2月には節分の催しとして職員が鬼、福の面をつけて訪問するなど季節に合わせた取り組みをしてまいりました。ご利用者・ご家族より心遣いがとても嬉しいとご好評をいただいております。居宅介護支援事業については、介護予防委託支援事業を27年度から開始しており、東御市包括との調整や、必要機器の準備等、事業の推進に努めてまいりました。通所介護事業について大幅な減収となり、居宅介護支援事業も減収でした。今回の減収について要因として、①通所介護の広報活動が不足していたことにより新規依頼が少なかった事。②近隣地域に宿泊型施設が増えた事が考えられます。①については、10月より通所介護の稼働が減少したことから、各居宅への訪問活動を行うように致しました。②については、佐久市、小諸市、上田市の宿泊型施設が増えていることと、介護保険改正で特養に入所できる方が要介護度3以上となり、入所が制限されたことが重なり入所待ちの方が有料の施設へ流れたと推測されます。その為、通所介護を利用していた要介護3以上の方が特養に入所しやすくなり、週に複数回利用していた方が入所となったことが減収へと繋がったと考えております。訪問入浴については過去にないほどの稼働を1年間維持することが出来ております。利用しやすい事業所を心掛け、ご利用者、ご家族、ケアマネ、訪問看護、その他のサービス事業所と連絡を密にとることを行ってきたことが評判となっていること、又、訪問入浴の看護師が在宅での医療処置を訪問看護に代わりが出来ること、入浴後の更衣をすることで訪問介護の代わりが出来ることが利用しやすさ、便利さに繋がり稼働が増加した年であったと感じております。

29年度に向けて、通所介護では広報活動を多く取り入れ、ともがきの良さを知っていただき、利用に繋げていけるように取り組んでまいります。訪問入浴では、現在できている繋がりを大切にして、安心して利用できる体制づくりに取り組んでまいります。居宅は総合事業の新規利用者が増えてきていることもあり、今後の市の動向にも注意しながら、利用しやすい施設づくりを目指してまいります。

財政面についてはともがき全体として減収の年となりました。支出面では、時間外勤務の削減や、職員の業務の兼務対応など取り組んでまいりました。施設設備や物品の老朽による支出もできる限り抑えてまいりましたが、収入面で通所介護の当初予算よりも約1千万減収となった部分をまかなうことが出来ませんでした。今後としては、支出を抑えることには限度がある為、収入面を増やすことが最大の改善案ととらえ取り組んでまいります。